

| | |
|----|---|
| 1 | 興味を持って聴くことができました。ありがとうございました。 |
| 2 | 一人一人の資質能力の向上につながる「技」がたくさん散りばめられておりました。ありがとうございました。 |
| 3 | GIGA スクール構想の意義が古き良き体制が浸透している公教育現場から新たな要素をもたらしてくれるものになるのではないかと期待の持てる内容であった。 |
| 4 | 主体的・対話的で深い学びをしましょう、ということは受動的で一方的で浅い学びをやめましょう、という意味です。という言葉が授業づくりをする上で大変わかりやすい捉え方であると思いました。パーソナル・トレーニングと同様に、学習も個別化することが求められており、強い部活動で実践されている内容を教育現場にも応用していくことが効果的であるという話を聴き、これまでの経験を生かして教育を考えることができると思いました。「自分が社会を変えることができるかどうか」というアンケート結果を見て、当事者意識を持っている生徒が諸外国に比べて圧倒的に少ないことに危機感を覚えました。生徒が熱中する探究的な学習を目指し、取り入れていくことが必要だということを知り、チャレンジできる環境を生かし、学校全体で実践していきたいと思いました。 |
| 5 | 日本の学校教育の欠点や今の現状を知ることができた。これまでの教育をそのまましているだけでは身に付けることができない資質・能力があるということを改めて意識して、今後の指導を考えていきたいと思った。 |
| 6 | 「受動的・一方的で浅い学びをやめましょう」という言葉が非常に重く響いた。校内で ICT 活用を推進する立場として、手段としての ICT 活用普及にこだわりすぎていた部分があるかもしれないと感じた。より上位の目標である「主体的・対話的で深い学びが実現できているか」という視点で、校内研修の実施内容を検討していきたい。 |
| 7 | 今の教育を取り巻く環境や今後の学びの在り方など、様々な面から教育についてのお話を聞くことができ大変貴重な時間となりました。今後、教育がどのように変わっていかうとも子ども達がよりよく将来を生きる力を与えられるような教師でありたいと強く感じました。本日はありがとうございました。 |
| 8 | 現実に目を向けて学校教育でできることを真剣に考える必要性を感じた。子どもの意欲を大切にした教育について引き続き考えていきたい。 |
| 9 | 未来の教室に関するご講演を聞いて、新しい学習スタイルや学校のカリキュラムのあり方についての新しい知見を得ることができ勉強になりました。そして、これからの社会で生きていく子どもたちに必要な資質・能力は、画一化された学習だけでは到底身につけることができないということを改めて感じさせられました。そのため、教師自身も思考を柔軟に働かせ、教科指導に限らず教育活動全体を通して生徒の主体性を高め、学びの自律化を促すことができる余裕をもった指導ができれば理想的であると感じました。また情報技術が発達している現代社会だからこそ、その利便性を理解し、効果的に活用しながら目の前の子どものために必要な教育を施すことができるように、自分自身も学び続けなければならないと感じました。 |
| 10 | デジタルトランスフォーメーションなど、オンラインをフル活用して学びの環境を整えていけばとても効果的だと感じた。教員でもオンラインに疎い人は多くいて、アナログからデジタルに切り替わっていかないことも事実である。ID とパスワードを当然のように忘れていた教員もいるので、教える側の教育も必要になってくるのではないかと感じた。 |
| 11 | 子どもたちが興味を持つところから学びは始まるのだと思いました。今回お話いただいた様々な学びのあり方ですが、現状の学校ではできていないことが多いように思いました。学びとそれを使う場面を結びつけ、学びたいという動機づけをすることが学校の中でどのようにできるのか、考えていきたいと思えます。 |

| | |
|-----|--|
| 1 2 | 非常に有意義な講演だった。これからの教育に求められているものが少しだけ分かった気がする。今後の指導に生かしていきたいと思った。 |
| 1 3 | 学びの様々な形、考え方をまさに考えさせられたなと思いました。これからの教育の方法を幅広く考え、積極的に行っていきたいと思いました。ありがとうございました。 |
| 1 4 | G I G A スクール構想の意図がわかり、教育の方向性がわかりよかったです。 |
| 1 5 | 現在の学校教育が「守破離」の「守」でとどまっているというご指摘が、どこか自分がいつも感じていた疑問と同じで、話に聞き入ってしまいました。デジタル環境の整備がなされている意義を再認識し、これからの学校に求められることについて学ぶことができました。お話しいただいた「ルールメイキング」や「S T E A Mライブラリー」を特別活動に生かしていき、子供たちが社会に出たときに本当に必要な力を身につけさせられるよう、指導に当たってきたいと考えます。 |
| 1 6 | 講演いただいたことをこれからは活かせるところはどんどん活かしていきたいと思います。 |
| 1 7 | 非常に内容の濃い講演でした。「未来の教室の作り方」という講演題にあるように、現在の学校の常識を一度見直し、変えるべきところは変えていかなければならないと感じる内容でした。 |
| 1 8 | STEAM 教育という新しい示唆をいただき、大変参考になりました。 |
| 1 9 | 子どもたちが探求したいと思えるような課題を見つけ、教科を越えて様々な知識・技能を使いながら磨いていく姿を思い浮かべるととても楽しみにになりました。何をテーマにすると広がりや深まりのある探求的な学習になっていくか、見極める力が教師には求められているのだと思います。必要感のある学習課題を設定するには、これまで以上に、児童生徒の身近な生活や地域に目を向け、理解しようとするのが大切になると感じました。 |
| 2 0 | 今後の学校教育のあり方を見つめ直すきっかけになった。 |
| 2 1 | 色々な方面からの教育に対しての考え方を聞ける機会がなかなかない中で、今回みたいなお話を聞ける機会はすごく貴重な時間でした。ありがとうございました。 |
| 2 2 | 子どもの学び方は、「将来の大人の働き方」の準備という言葉が、特に印象に残った。社会へのシームレスな接続のために、DX の利用を継続していきたい。 |
| 2 3 | ギガスクール構想の意義など横断的に話していただき、理解が深まりました。今回の話を現場に生かしていきたいと思います。 |
| 2 4 | 学校だけでなく、教員として多角的・多面的な視点視野を持って、日々生徒と向き合っていかなければならないと感じました。 |
| 2 5 | これからの教育の方向性について話を聞き、自分自身の考えの固さを実感しました。もっと子どもたちの未来に目を向けていく事、私自身もワクワクするような学びをしていき共同探求者となれるように過ごしていこうと思います。探求もただやるだけでなく意味のある探求になるよう、今日教えていただいたポイントを整理して日々の教育実践に繋げていこうと思います。浅野様の講演、有意義な時間となり、感謝致します。どうもありがとうございました。 |
| 2 6 | GIGA スクール構想についての理解が深まるとともに、一人一台端末の活用方法について工夫していく意欲が高まりました。 |
| 2 7 | 講師に聞きたいこと、感想等に記入しましたが、非常にワクワクし、納得できる内容で有意義なものだったと感じました。 |
| 2 8 | 未来の教室の在り方や、STEAM 教育の例など、様々なことを学ぶことができました。 |

| | |
|----|---|
| 29 | なぜ学ぶのか、これからの学びの方法（学びのかたち）、学びの必要性について私のこれまでの指導を見直すきっかけとなりました。正直、ハッとする内容もあり、反省と同時に今後さらに自分の力を伸ばしていかなければならないと感じました。 |
| 30 | ギガスクール構想について理解を深めることができた。しかし、共同的な学びと個別最適化の学びの矛盾がやはり課題となると感じながら聞いていました。個別最適化の学びと共同的な学びをしっかりと機能させていけるようにこれから研究していきたい。 |
| 31 | とても面白かったと感じております。学校に勤務している身として気が付かない視点でお話いただき、考えていかなければいけないことだと感じたい。 |
| 32 | 学校現場で過ごしていると、生徒に身につけさせたい能力として、目先の点数、知識・技能の部分にばかり目がいってしまう。思考力・判断力・表現力を使うような問題を出しても、その問題が解けるかどうかという判断をしてしまう。方法や手段でなく、根本の目標を考え、日々の授業改善を行っていく必要があると改めて感じた。これからの社会を生きていく子どもたちに、社会がどう変わっていても生きていけるような力をつけさせることを常に意識し、日々の教育活動に当たっていきたいと思う。 |
| 33 | 学校現場がどんな目的で教育を行い、どんな生徒像を目指すのか、改めて考えるきっかけとなりました。教育 DX を行っていくためにはまだまだ課題が多いように思うので、自分なりの手段を考えたいと思います。本日はご講演ありがとうございました。 |
| 34 | STEAM 化（学びの探求化）について学ぶことができました。個別最適化をすることは学校のような場所では不可能ではないかと諦めていましたが、それは完全に自分の思い込みであるということに気がかされました。個別への目標を持たせるために早めに社会に出した方がいいという先生の言葉がとても印象に残っています。今日は本当にありがとうございました。 |
| 35 | 教育を俯瞰した視点からお話を聞くことができ貴重な機会でした。だからこそ、オンラインで映された資料が小さく、文字が見えづらかった点をもったいないと感じました。経済産業省としてのお話と浅野様としてのお話両方聞けたこともよかったと思います。外から見た学校に対する課題点もたくさん聞くことができたので、月曜日からの授業で意識していきたいと思います。 |
| 36 | 学ぶ方法は多様であり、その中でも目標にこだわったよりよいものを選んで実践したいと思った。時代が変化する中で変わらない悩みがある一方、新しいものへ挑戦する必要性も見出せた。教師も生徒もよい意味で固定化されず、越えていけるようにしたいと思った。 |
| 37 | 浅野先生の GIGA スクール構想のお話のなかでも「学び方の組み合わせ自在化」と「データ利活用」の話が興味深かった。また、「興味が湧かないなら探究しようがない。」という考えはまさにその通りだと思った。生徒が探究しようとするために、教育する側としてさまざまな種をまく必要があると考えた。 |
| 38 | 探求について、あまり関わる機会がありませんでしたが、ぜひやってみたいという気持ちが強くなりました。もう一度講演を復習し、自分ができることを早速始めたいです。また、AI 型教材による学び直しによる自己肯定感を取り戻すことができるところにも大変興味が湧きました。いろいろな気付きや学び、活かしていきたいと思います。ありがとうございました。 |
| 39 | 一人一台端末が配布された理由、思いがよく分かりました。探究的活動が自分の授業ではなされていたかと考えるきっかけになりました。本日は貴重なお話をありがとうございました。 |
| 40 | 経済産業省と教育のつながりや GIGA スクール構想への思いなどを聞くことができ、大変勉強になりました。知的障がい特別支援学校での活用については、実践例がまだまだ少ないですが、現場ではどう活用していこうか、前向きな話し合いが多くされています。私たち自身も探究していくことが求められているのだろうと思います。 |

| | |
|-----|--|
| 4 1 | 国の方向性や全国での取り組みを確認できたことで、今後の進め方や生徒たちへの関わり方を考えさせられました。 |
| 4 2 | 確かにいろいろな固定観念が多く、改めて「なぜ」と問われると回答に困ることがたくさんあるので、そこを変えていかないといけないと感じた。 |
| 4 3 | 令和の時代を生きる子どもたちに必要な力や、これからの社会で必要とされる力を踏まえた学習を、型にとらわれずに考え直すことができました。 |
| 4 4 | 自分が理想としている生徒の姿とはまさにこういう姿だといえる生徒が実践の中で登場しており、そのための指導法についても大変勉強になりました。特に浅野大介氏の講演では、学校のルールについて本気で考える生徒の姿をイメージすることができました。どうしてこの校則があるのだろうという問いは、生徒が当たり前だと思っていることに対して向き合い、真剣になって考える力になると思ったため、これから生きる力を育むために何が必要かを改めて検討したいと思います。 |
| 4 5 | 学校の在り方や社会の在り方、教育の在り方など、大きな単位の話でしたが日々の授業や校務の中に還元できることも多々あり、大変勉強になりました。特に”そもそも論に立ち返る”ことについては、ハッとさせられたところがあり、これまでの授業でも手段や方法に捉われすぎていたことがあったため、目標を軸に据えることの重要性を再認識することができました。ありがとうございました。 |
| 4 6 | 今の学校教育の限界（伝統的なルール遵守）や、子どもたちの現状（夢を持ってない、興味をもてない）ことに関しても切り込んだ話をされていて、勉強になりました。柔軟な考えをもって、これからの教育に関わっていきたいと思いました。 |
| 4 7 | 学習指導要領に記載されていることについて、分かりやすく言い換えをされており、理解しやすかった。 |
| 4 8 | 一人一台の端末が配付された理由のお話や、決まった学び方ではなく学び方の組み合わせなどのお話など、これからの時代に合わせた講演の内容で、とても興味深く聞かせていただきました。ありがとうございました。 |
| 4 9 | 経済産業省の方ということで、普段教育の現場で耳にする文部科学省所属の話とは系統が違って、非常に新鮮な思いで話を聞くことができた。教育の現場で働いていると、どうしてもその考えが当たり前に感じてしまうことから、できるだけ友人や保護者と話をすることで、多様な考えを持てるようにしているつもりであるが、やはり教育は多様性と持って考えていかなければならないのだと、改めて再認識できた。また、「GIGA スクール構想」についてのメリットを聞く中で「何かあったらどうするんだ」と考えるのは、子供を預かる身として当然だと思う。私自身がモラルを守らないといけない一方で、法的に守られるような整備も必要であるなど感じた。 |
| 5 0 | 「未来の教室」プロジェクトのコンセプト図の真ん中に一人ひとりの「ワクワク」がありました。生徒に「ワクワク」を感じさせる仕掛け、アプローチをどう図ったらよいのか、さまざまなコンテンツを利用することによって教師はそれを利用し、助言・提案していかなければならないと感じました。 |
| 5 1 | 今の学校で「探究」は可能なのかという点についてのお話があり、従来の学校のあり方を再度見つめ直す機会となった。STEAM 教育への理解が深まり、また STEAM ライブラリーものぞいてみて大変魅力を感じたが、現在の学校教育の中でどのように実施していけばよいのかという疑問も残った。大変興味深い講演でした。ありがとうございました。 |
| 5 2 | 未来の学校・教育について新鮮なお話を聞くことができ、これからの学校・教育の在り方について考えさせられました。ご講演ありがとうございました。 |

| | |
|-----|--|
| 5 3 | 内閣府・経産省・文科省等が横軸で連携し、「令和の日本型学校教育」を強力に推進していこうとしていることを強く実感できました。策定にかかわっておられた浅田氏・合田氏・奈須氏等々のお話とも根底でつながっており、目指す方向性は同じだということが確認できました。一斉授業ありきという前提を見直し、具体的に個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実をどのようにして実現していくかという、より現実的なところでの具現化策を見いだすことが今後教育行政や現場に求められているのだと痛感しました。ありがとうございました。 |
| 5 4 | GIGA スクール構想、未来の学校教育について、自分では考え及ばない意見や切り口でお話が聞けて大変興味深く聞くことができました。著書についても読んでみたいです。 |
| 5 5 | 当たり前としてとらえられていることに対しても、「なぜだろう」「どうしてそうなっているのか」という視点を生徒たちがもてるように、教師側としても様々な仕掛けを施していくことが必要だと感じました。手段ばかりに目を向けず、何のために、という目標を常に意識して教育活動を考えていきたいと思いました。 |
| 5 6 | 経産省の視点からお話を伺うことができたのは非常に貴重な経験であった。ありがとうございました。 |
| 5 7 | これから求められる学びのあり方を知ることができました。それに対して今後どのような授業をしていけばよいのか考えることが多く、議論を深めながら進めていきたいと思いました。 |
| 5 8 | 具体例があり、よりイメージしやすく理解できました。今後の教員生活に生かすことができるようにひとつずつ挑戦したいと思います。ありがとうございました。 |
| 5 9 | 教育 DX の意味が良く理解できた。また、地域協働と教科の横断授業の構想をしているため「STEAM ライブラリー」を閲覧してみようと思った。「子供たちのため」という考えが根底にある点は我々教員と同じと感じた。 |
| 6 0 | GIGA スクール構想について、「受動的で一方的で浅い学びをやめる」という言葉が印象的だった。また、横断的な学習について、技能教科を支えるための5教科の学びということがとても興味深かった。生徒の「ワクワク」を中心とした知識の獲得と探究活動を大切に、授業を改善していかななくてはならないと感じた。 |
| 6 1 | これからの教育現場の在り方について考えていかなければならないと思った。また、将来の夢ややりたいことがない生徒に対しての支援についても、少し見通しがもてた気がする。 |
| 6 2 | これまでの基礎基本を徹底していた学校教育からさらに生徒が自分の夢中になることを見つけて探究していく姿を創造していきたい。そのためには、教科を横断的に繋げて、再構築する作業を行ってきたい。 |
| 6 3 | 本日は貴重なお話を聞かせていただき、本当にありがとうございました。「受動的・一方的で浅い学びからの脱却」のお話にもありましたが、やはり一方的な課題提示による一斉の詰め込み授業の形式では、忍耐強く、優秀な子供たちは耐えられるとは思いますが、そうでない子の方も現状多いと思います。その結果、子供の問題行動や不登校等にもつながっている現状もあるかと思っています。やはり今の教育環境や【守・破・離】の【守】を維持している学校教育の現状から、未来志向の観点から脱却していく必要があると感じ、先生のお話を拝聴いたしました。現場の先生方としては、これまでの形式の授業構成・学級経営の中で、いかに子供たちが主体的・対話的に深く学べるか、日々苦慮しながら教育内容を工夫し、子供たちのために実践を重ねてきたと思います。私自身、未来の教室の在り方は私自身大変興味深く、あこがれの思考も持ち合わせておりますが、実際に動き出すためにはそれなりの下準備と段階が必要にも思います。未来の教室の在り方の実現に向けて、私自身今後考えていきたいと思える内容でした。ありがとうございました。一点お伺いしたかったことは、未来の教室の実現に向けて、小学校段階の子供たちへのアプローチや特に重点化した方が望ましい内容、分野等ございましたら教えてください。本日はありがとうございました。 |

| | |
|-----|--|
| 6 4 | 理想的な授業の在り方を模索しても、現在の日本では実行しづらい（標準授業時数など）ことを聞き、教育に携わる者として新しいことがやりづらい原因が分かった気がした。仕事のための仕事が多いと言われる日本であるが、特に教育現場では課題を抱えた児童生徒が一人でもいれば対応に多くの時間が割かれる。教員が子どもにとって理想的な授業・学校づくりを進めたい気持ちは山々なのに、大変な思いをしてなお学校現場は無駄が多いと言われるとやるせない思いになった。教員の教材研究の時間がたくさん確保できるような現場の改善が一刻も早く行われてほしいと思う。 |
| 6 5 | 今までの教員としての自分を振り返る機会になったとともに、これからの仕事の意欲になった。子どもの学び方は、「将来の大人の働き方」というのがとても印象に残った。GIGA スクール構想という言葉は知っていたが、言葉だけを知っているという状況でした。今回、なぜ ICT を活用するのか、なぜドリルでの学習、対話活動が大切なのかなど、教育活動の一つ一つの意義を深く考えることができた。 |
| 6 6 | 「GIGA スクール構想」の本質について考えることができました。文部科学省の視点でなく、経済産業省の方々の視点でこれからの教育について考えられたのは、自分にとって新たな価値観であり、とても新鮮でした。「受動的・一方的で浅い学びをやめる」という意識をもとに、これからの教育活動に勤しんでいきたいと考えております。 |
| 6 7 | 「受動的で一方的で浅い学び」等、普段聞き慣れている言葉とは違う伝え方をしていただいたり、経済産業省の立場で教育についてお話いただいたりしたことで、これからどのように児童生徒の情報活用能力を育ていけばよいか考えることができました。ありがとうございました。 |
| 6 8 | 現在では一人一台端末が当たり前になっていますが、電子黒板や ipad が学校に広まり始めた頃、「なぜ電子黒板が必要なのだろう？」「ipad をどのように使っていけばいいのだろう？まず自分が使いこなせないことには、生徒に教えられない。」といったことを思っていました。しかし、今日の講演を聞いて、一人一台端末や GIGA スクール構想が出てきた背景について知ることができました。また、質問であったように、現在の中学生の多くが自分の将来についてしっかりとした夢や目標を持っていない生徒が多いです。しかし、浅野氏の言われた通り、生徒が様々な職業や社会について知らないために夢や目標をしっかりとしていないのではないかと思います。教師は様々なことを教えるプロフェッショナルなので、生徒がしっかりとした将来の自分を描いていけるように指導をしていかなければいけないのではないかと改めて思いました。 |
| 6 9 | とてもこの場書ききれないほどの情報をいただきました。常日頃、教員自身が固定概念にとらわれていて、生徒の本来伸ばすべき資質・能力を表面的にしかとらえていなかったのではないかと目から鱗の感覚です。頭ではわかっていたつもりの主体的、対話的で深い学びを受動的で一方的で浅い学びをやめることとの言葉は胸に刺さりました。その通りだ！って。同じゴールに向かっているけれど、こんなにアプローチの仕方、表現の仕方が文科省と経産省で違うのか、まさに多面的な見方・考え方を働かせるってこういうことなんだなということが実感を伴って理解しました。本当に子どもの学び方は将来の大人の働き方に直結していることを実感しました。ありがとうございました。 |
| 7 0 | 教育の DX について、どのような経緯や思いで始まったのかがよく分かりました。「一方的で受動的で浅い」授業にならないように自分自身の日々の授業への取り組み方を見直していきたいと感じました。また、総合的な探究の時間に役立つようなサイト等の紹介もあったので、今後いろいろと見ながら勉強していきたいと感じました。 |

| | |
|-----|---|
| 7 1 | 「今の日本で探究できるのか」という問いが心に響きました。私は今後「おもしろくて意味ある探究のための4つ」をぜひ意識していきたいと思います。「夢を見出せない」「学ぶ目的を見出せない」という限界を超えるのが学校で、そのためのGIGAスクール構想であるということ意識しておきたいと思います。私は、チャレンジできる福島の教員であることを誇りに、自信をもって取り組んでいける教員になりたいと思います。ありがとうございました。 |
| 7 2 | GIGAスクール構想の根本的な考え方を知ることができ、勉強になりました。ライブの時は資料がよく見えたが、録画に切り替わっている間は資料が不鮮明であったので、次年度の発信の際に考慮いただけるとありがたいです。 |
| 7 3 | 講演を聴き、今社会全体、そして学校を巻き込んだいろいろな状況が変ってきているのに、今までのやり方から脱出できていない自分があるな、と感じました。講演から、指導要領を核としたさまざまな内容について、それらを身に付けさせる手段と方法は山ほどあることを学び、様々なアプローチの方法を私自身が身に付けていきたいと感じました。今後、自分自身が多くの人と関わり、教育DXを意識しながら指導にあたることができるよう、学びを重ねていきたいと思います。どうもありがとうございました。 |
| 7 4 | やりたいこと、目標、夢などを明確にもって学んだり生活したりすることはとても大事だけれど、まだ将来のことをよく考えられなくても自然なことだととらえて、いろいろなことに興味をもてるような指導をしていきたいと思いました。 |
| 7 5 | 未来の教室のつくり方について以前から大変興味のある内容でお話を聴くことができ勉強になりました。「だれ一人とり残すことない学級」と子どもたちが学級目標を決めて4月から学級が始まっていますがどのようなアプローチをしたらよいか悩むことが多いです。また、将来どのような学級、学校にしていくことが、これからの社会にとって望まれているか考えます。今回のご講演を通して、「そもそも」で考え直すことの大切さ、本物の探究のために大切なこと、謙虚なリーダーシップ等について学ぶことができました。今後の教員人生と子どもたちとの充実した学級・学校づくりに向けて大変有意義な時間になりました。ありがとうございました。 |
| 7 6 | 講演を聞かせていただいて、大変興味深く、なるほどなあと思うところの多い内容でした。STEAM教育やEdTechについては、最近よく耳にするワードで、よく知りたいと考えていたところだったので、さらに勉強して学びに生かしていければと思っています。お話の中に「学びの組み合わせの自在化」とありましたが、対面やオンラインのよさを相互に生かして、「学ぶことが楽しい!」「もっと学び続けたい!」と思える子どもたちを育てるとともに、自分自身も学び続けられる教師でありたいと思いました。機会があれば、講師の先生の著書も読んでみたいです。 |
| 7 7 | 教育DX(デジタル・トランスフォーメーション)、「学び方の組み合わせ自由化」と「データ利活用」のイメージにより、対面とオンラインの二項対立ではないことについて大変参考になった。 |
| 7 8 | ICT機器の活用について新たなヒントを考えることができ、新しい気付きを得ることができた。ICT機器の活用に向けては新たな視点、今までとは違った視点で考えていかなければならないと感じた。 |
| 7 9 | これからの教育について、「なぜ」そういう動きをしているのか、その一部を知ることができたことが良かったと思います。その上で、教育の理想と現実(実際)について考えさせられる講演でした。ありがとうございました。 |